

令和3年度中部方面総監感謝状受賞者紹介



中部方面総監との記念撮影

中部方面総監
感謝状受賞
会長 林 勉氏

令和3年10月2日(土)、伊丹駐屯地(兵庫県伊丹市)において、令和3年度中部方面総監感謝状贈呈式が実施されました。
大久保駐屯地からは、大久保自衛隊協力会会長の林勉氏が、「駐屯地行事の支援等を通じ、地域と自衛隊との懸け橋となり、防衛基盤の育成に尽力した功績」により、中部方面総監(野澤真 陸将)から直接感謝状を贈呈されました。
受賞された林会長は、「このような栄えある感謝状を頂けたことは、誠に身に余る光栄でございます。推薦していただいた皆様にご感謝致します。」と話されました。

| 令和3年度大久保駐屯地司令感謝状受賞者 | |
|---------------------|---------|
| 久御山協力会 | 澤野 和 嗣 |
| 八幡市協力会 | 橋本 正 勝 |
| 宇治田原協力会 | 木谷 喜 六 |
| 木津川協力会 | 三 樹 正 行 |
| 小倉協力会 | 井上 諭 |
| 京田辺協力会 | 寺本 安 一 |
| 青年部 | 中西 秀 友 |
| 陽融会 | 西尾 善三郎 |
| 大久保駐屯地桃友会 | 堀江 洋 一 |
| 45会 | 中畑 昌 三 |
| くりくま会 | 迫田 一文 |
| さきがけ会 | 南部 登志子 |
| | 伊田 俊 二 |
| 業務諸隊OB会 | 溝上 昭 人 |

令和3年度大久保駐屯地司令感謝状贈呈式



記念撮影(撮影時のみマスクを外しています)

駐屯地は、令和3年8月3日(火)、大久保駐屯地厚生センターにおいて、令和3年度大久保駐屯地感謝状贈呈式を実施しました。
永年にわたる駐屯地へのご理解とご支援、ご協力頂いた14名の受賞者のうち、ご参加を賜った7名の方に對し、駐屯地司令(坂元秀明 陸将補)から感謝の気持ちを込めて感謝状及び記念品を贈呈しました。
これからも活力に溢れ、皆様に更に信頼される大久保駐屯地を目指し、日々努力してまいります。



発行：大久保自衛隊協力会
陽融会
大久保駐屯地桃友会
45会
編集：第4施設団本部
第1科広報班
印刷：進晃堂印刷

「第7施設群新隊員後期教育」「第3施設大隊新隊員後期教育」



連携した杭作成



杭の打ち込み

第3施設大隊教育隊



木材加工



木材の連結



爆破訓練



漕舟練成



ショベルによる投土



屋根型鉄条網の構築

第7施設群教育隊

第7施設群教育隊(新隊員90名)は、令和3年7月2日(金)から10月4日(月)までの間、第3施設大隊教育隊(新隊員44名)は、令和3年7月2日(金)から9月29日(水)までの間、4月に入隊した新隊員に対して後期教育を実施しました。
新隊員は猛暑とコロナ禍にも負けず、施設科隊員としての基礎知識及び技能を学ぶとともに、同期の絆を深め、切磋琢磨しながら修了式を迎えました。
教育を修了した隊員達は、自信と希望を胸に、大久保駐屯地のほか豊川、富山、宇治、三軒屋、出雲駐屯地のそれぞれの部隊に配属され、第一線で活躍します。若い力の新天地における活躍を乞うご期待!

駐屯地司令要望事項
即応と信頼
紙面紹介

- 1 面
 - 令和3年度中部方面総監感謝状受賞者紹介
 - 令和3年度大久保駐屯地司令感謝状贈呈式
 - 新隊員後期教育
 - 団車両技能競技会

- 2 面・3 面
 - 各部隊訓練等記事

- 4 面
 - 部隊長随筆
 - 最先任の一言
 - 職場体験
 - 定年退官者紹介
 - 転入部隊長紹介
 - 編集後記



クランク走行「そのまま来い!」



息の合ったタイヤチェーン取付け



準備完了「やります!」



気迫溢れる選手宣誓



優勝した第307ダンプ車両中隊



S字を走行「朝飯前です!」



縦列駐車完了「決まった!」



目視による確実な安全確認

団車両技能競技会

団は、令和3年7月8日(木)、9日(金)の2日間、駐屯地の自動車教習所等において団車両技能競技会を実施しました。
第4施設団の隷下部隊から代表として参加した隊員達は、部隊の名誉をかけて大型車両の操縦技能、タイヤチェーンの取り付け、車両運行に関する知識等の部門で競い合いました。
結果は、車両部隊の矜持を見せた第307ダンプ車両中隊が接戦を制して見事優勝しました。

各 部 隊 訓 練 等 記 事



70式地雷原爆破装置の設置



車両配列完了



指揮所用簡易掩蓋掩壕の本体部構築



指揮所用簡易掩蓋掩壕の本体部構築



集団装束を使用した障害処理



集団装束を使用した障害処理



命令下達



機関銃用簡易掩蓋掩壕の埋め戻し

今年の北海道は、99年ぶりの暑さとなり、連日30度に近い暑い日が続くなど、隊員にとって厳しい環境でした。

また、約1700キロの長距離機動訓練は、北海道への移動を初めて経験する者も多かったため、不安と期待が混じる中での移動となりましたが、第2中隊及び統裁部要員は、それぞれ一人一人が日頃の練成の成果を遺憾なく発揮し、整齊円滑に移動し、矢日別演習場での各種任務を完遂するとともに、以後の練成の資を得ました。

本訓練において、攻撃に任ずる第36戦闘団に配属された第2中隊の訓練検閲を実施するとともに、第3師団が実施する第一次師団訓練検閲統裁及びHTC（北海道訓練センター）運営を支援しました。

大隊は、令和3年6月16日（水）から7月23日（金）までの間、北海道にある上富良野、然別及び矢日別演習場において第3師団が実施する令和3年度北方転地訓練に参加しました。

第 3 施 設 大 隊

また、第381施設中隊は、新型コロナウイルス感染症対策のため、参加人数が限定される中、少ない人員での作戦準備となり、今までの経験したことのない厳しい状態での検閲となりましたが、指揮所用簡易掩蓋掩壕（4・5LP）業務室用露天掩壕、機関銃用簡易掩蓋掩壕（2・5LP）の構築及び非標準式地雷原、指向性散弾並びに柵型鉄条網の構成を実施しました。

また、第381施設中隊は、新型コロナウイルス感染症対策のため、参加人数が限定される中、少ない人員での作戦準備となり、今までの経験したことのない厳しい状態での検閲となりましたが、指揮所用簡易掩蓋掩壕（4・5LP）業務室用露天掩壕、機関銃用簡易掩蓋掩壕（2・5LP）の構築及び非標準式地雷原、指向性散弾並びに柵型鉄条網の構成を実施しました。

第380施設中隊は、7月下旬での検閲受閲であったため、夜間でも気温の高い状態が続く中、ゲリラ豪雨にも見舞われながら、指揮所用簡易掩蓋掩壕（4・5LP）、執務室用露天掩壕、作業室用露天掩壕、機関銃用簡易掩蓋掩壕（2・5LP）の構築及び非標準式地雷原、指向性散弾並びに柵型鉄条網の構成を実施しました。

第380施設中隊は、7月下旬での検閲受閲であったため、夜間でも気温の高い状態が続く中、ゲリラ豪雨にも見舞われながら、指揮所用簡易掩蓋掩壕（4・5LP）、執務室用露天掩壕、作業室用露天掩壕、機関銃用簡易掩蓋掩壕（2・5LP）の構築及び非標準式地雷原、指向性散弾並びに柵型鉄条網の構成を実施しました。

第 7 施 設 群



施設基礎作業（連結）



人命救助セットの取扱い



野外炊事



車両の偽装



体力測定



射撃



巡回整備（大型トラック）



タイヤチェーンの取付け

また、指導能力の向上を狙いとして器材隊の若年隊員に教官及び助教を担当させる等、教官及び訓練参加者双方にとって有意義な訓練となるよう着意しました。

酷暑の中での招集訓練となりましたが、参加者全員が訓練に真摯に取り組み、ともに、新型コロナウイルス感染症対策等、体調管理及び安全管理を徹底し、一人もかけることなく無事招集訓練を終えました。

器材隊は、令和3年7月29日（木）から8月2日（月）までの間、大久保駐屯地及び長池演習場において令和3年度予備自衛官招集訓練を実施しました。

本招集訓練は、特殊器材中隊が担任し、予備自衛官延べ96名の参加の下、任務遂行能力の向上に留意した訓練を実施しました。訓練においては、人命救助セットの取扱い、施設基礎作業（連結）、89式小銃の取扱い（分解・結合）、駐屯地警備、救急法第2課題第1段階（隊員自らによる止血）、担任部隊長（器材隊長長川田2佐）による精神教育、実弾射撃及び体力測定を実施しました。

第 1 0 2 施 設 器 材 隊

第2直接支援中隊は、今後も中隊長を核心に要望事項「和」を以って、中隊一丸となり更なる精進を重ねて行く所存です。

第2直接支援中隊は、今後も中隊長を核心に要望事項「和」を以って、中隊一丸となり更なる精進を重ねて行く所存です。

大隊は、令和3年7月13日（火）から18日（日）までの間、令和3年度第3回野営訓練を実施しました。

第2直接支援中隊は第7施設群第380施設中隊と協同し、集結地の占領、自衛警戒戦闘、指揮所構築、野外炊事及び野整備支援について演練しました。

野整備支援においては、被支援部隊への巡回整備により、機材の不具合故障整備防止するとともに、迅速・円滑な故障整備を行い、被支援部隊の任務遂行に寄与しました。また、初級陸曹が教官となり、タイヤチェーン装着要領について教育し、野外敵の脅威の下で装着要領を演練しました。さらに、野外炊事訓練においては、炊事未経験者に對して、夏場の衛生面を重視した炊事要領の練成を通じ、野外炊具2号（改）の取り扱い練度の向上を図りました。厳しい暑さの中、新型コロナウイルス感染症対策を万全にして、参加者全員が異状なく、野営訓練を終えました。

第 1 0 4 施 設 直 接 支 援 大 隊

第307 ダンプ車両中隊



優秀隊員に選出された森糸1士



走行ダンプによる碎石の卸下作業

中隊は、あひば野演習場において、令和3年9月5日(日)から9月16日(木)までの間、令和3年度方面隊統制演習場秋季整備に参加しました。中隊長木村3佐を核として演習場整備の場を部隊の任務遂行能力向上と人材育成の場と捉え、隊員一丸となり「しやかりき(車荷力)になってダンプ支援任務にまい進しました。特に前段の整備においては、戦車場のフラット化(延べ5060㎡)、新道分道法面補修整備(延べ555㎡、111台分)、幹線道路の整備に伴う骨材敷き均し(延べ880㎡、76台分の土砂運搬)等を、後段は第3師団が実施する部隊行動容易化のための整備が発生した伐採木の運搬(延べ630㎡、126台分)を実施し、輸送専門部隊として持ち前の技術と輸送力を最大限に発揮し、被支援部隊の任務達成に寄与しました。また、本演習場整備期間中、本演習場整備の指揮幕僚活動を並行して、中隊CPX業務の指揮幕僚業務を演練しました。また、幕僚業務要領を演練しました。今演習場整備で活躍した永野3曹、中川3曹は第6施設群長から優秀隊員として褒賞され、今後の活躍が期待されます。中隊は10月に団訓練検閲を受閲予定であり、積み重ねてきた訓練成果を「自信と誇り」に変換し、「所命必遂」で任務に邁進していく所存です。

第4施設団本部付隊



操縦手と車長との連携



タイヤチェーンの脱着

団本部付隊は、令和3年7月8日(木)及び9日(金)に大久保駐屯地において団車両技能競技会に参加しました。この競技会は、車両操縦技術及び操縦手、車長の連携能力を向上させるとともに、団結の強化、士気の高揚を図る目的で開催されました。「技能の部」は、鋭角の通行、縦列駐車、クラック、スラローム、車両の後退の運転技能を操縦手、車長が連携して実施。タイヤチェーン脱着時間を競う2項目で争い、「知識の部」は、道路交通法・陸上自衛隊関係法規の中から100問の筆記試験で争いました。通信班所属の中瀬3曹、北士長が隊の代表として競技会に参加しました。競技会前、2名の隊員は学科試験の勉強及びタイヤチェーンの脱着要領を繰り返し練習し、自信を持って競技会本番に臨みました。いざ決戦、タイヤチェーン脱着及び運転技能は、アクシデントもなく練習の成果を遺憾なく発揮し、20チーム中7位と優勝を狙える位置に付けたものの、翌日の学科試験を終え、総合4位と惜しくも苦杯をなめました。しかし、本競技会における2名の隊員の真剣さと努力は車両技能の向上及び車両事故絶無を図ることの重要性を全隊員に強く意識させてくれることとなりました。

大久保駐屯地業務隊



新隊員に対する物品愛護教育



隊員に対する油流出防止教育

業務隊は、駐屯地所在部隊の任務達成と隊員の充実した生活のため、様々な会同や委員会を開催し、様々な情報を提供したり、ニーズ等の聴き取りを行い、日々勤務環境の改善に努めています。開催している会同等は施設管理、補給・給食、福利厚生、健康管理など、隊員の勤務・生活に必要な不可欠なものであるため、より良いサービスが提供できるように日頃から、各部隊の担当者と密接な情報の共有を図っています。また、業務隊は一般の部隊とは異なり、自衛官、事務官、技官、共済組合職員及び非常勤隊員で構成されています。少数かつ多種多様な人員で構成されているため、5つある各科「横の繋がり」を意識して業務を実施しています。大久保駐屯地業務隊は、引き続き、駐屯地所在部隊を支える「縁の下の力持ち」として「部隊・隊員のために」取り組んで参ります。

第3後方支援連隊



レンジャー素養前回の練度判定



通信訓練(有線構成)

施設整備隊は、令和3年8月4日(水)に大久保駐屯地で第1回大隊訓練検閲の是正訓練を実施しました。隊本部は有線構成、整備小隊は偽装網の展張及び整備所天幕の構築訓練を実施し、通信担当者以外の隊員も有線を構成、運用できることを目標に、小隊は基本基礎の徹底と、班長及び若年隊員の育成を目標とし、訓練に取り組みしました。猛暑の中、有線の構成要領を全隊員が習得し、整備小隊は整備所天幕を少人数で構築し、偽装まで完成させ、怪我や体調不良者を出すことなく無事訓練を終えました。加えてレンジャー集合教育の参加予定者に対して素養試験前の練度判定を実施しました。実施した内容は懸垂、腕立て伏せ、かがみ跳躍、上体起こし、銃を保持しての2kmの持続走です。練度判定の結果もあり、教育参加予定者は素養試験を無事に合格することができました。必ず輝くレンジャー徽章を胸に帰隊しますので、声援よろしくお願いたします。

第318基地通信中隊大久保派遣隊



銃点検



撮影

派遣隊は、令和3年8月1日付をもって新派遣隊長(尾崎素子3等陸尉)が着任しました。要望事項は、「挑戦」です。自分に限界を作ることなく、あくなき向上心が重要であると認識し、何ができるかを考え、技術向上に努め、駐屯地から信頼される常統不断の基地システム通信基盤を確保するため派遣隊一丸となって日々邁進してまいります。また、令和3年8月23日(月)から27日(金)に実施された第1回群集中訓練及び第1回大隊統制訓練では、通信所の運営及び通信所の警備要領について演練し、常統不断の基地システム通信を確保する上で必要な練度の向上を図ることができました。本訓練においては派遣隊長等の状況判断・指揮、部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作を演練しました。今後は、電磁波・サイバー等の新領域にも対応できるよう更に演練していきます。今後も、駐屯地に所在する部隊の指揮の命脈たる通信確保に貢献します。

第397会計隊



女性自衛官も活躍!



確実な点検・確認

会計隊は、訓練の一つである計算証明集中点検訓練について紹介します。本訓練は会計検査院に提出する計算書等の不備事項の絶無を図るとともに、会計隊員の会計特技能力の向上を目的に実施しています。会計検査院の会計実地検査は数年に一度大久保駐屯地も受検しています。これとは別に会計隊は毎月、計算書等の書面検査を受けるため会計関連の書類も提出しており、間違いがあつてはなりません。このため、支払前にも確実な点検を行っていますが、誤記入や印漏れ等の見逃しや間違いがないか、全隊員が書類や数字の不備の是正に真剣に取り組んでいます。また、隊員相互に点検を実施することを通じて、担当業務以外の会計特技能力が向上できるよう着意し、明らかに不備事項を全隊員に周知徹底し、じ後全員が完璧な書類作成能力を習得し、国民から更に信頼される業務ができることを目標に日々努力して励んでいます。

部隊長随筆 最先任の一言



第307ダンプ車両中隊長 3等陸佐 木村 功



第3施設大隊 最先任上級曹長 陸曹長 川中 初男

〔着任挨拶〕

令和3年3月15日(月)付をもって、第28代第307ダンプ車両中隊長を拝命いたしました。歴代の第307ダンプ車両中隊長が築き上げてきた伝統を受け継ぎ「自信と誇り」を統率方針として更なる充実・発展できるように全力で取り組んでいく所存です。

平素から第3施設大隊に対し、格別なるご厚情及びご協力を賜り心から感謝申し上げます。さて、本題の「挨拶」ですが、皆さん「挨拶」は何のためにするものかと思いませんか？また皆さんは毎日「挨拶」をしていますか？立派な自衛官(社会人)になっても「挨拶」がきちんとできない人が意外と多いと聞きます。

〔挨拶〕

「挨拶」は、円満な人間関係を築くための基本です。人間関係がうまくいく人は、コミュニケーションも円滑に図ることが出来ます。また、「挨拶」ひとつでその人の人柄や人間性が見えたりもするそうです。普段の生活態度が現れるものなのです。第一印象が大切という話はよく耳にするとはいいますが、その第一印象の中には「挨拶」も含まれています。いくら身だしなみや清潔感に気を配っていても、「挨拶」が満足にできない人は、その時点で相手から好印象を持たれません。

「挨拶」は基本的な礼儀、コミュニケーションの入り口となるわけですから、「挨拶」がきちんとできていたら、大概の人間関係は円滑にいくと思います。そして、「挨拶」は相手に対する気遣いでもありです。そして、あなたの存在を大切に思っていますよ」という意思の表れでもあると思います。

最後になりますが、平素からの駐屯地協力会及び大久保駐屯地所在地部隊皆様との温かいご支援、ご協力に感謝申し上げますとともに、大久保駐屯地の一員として駐屯地の更なる発展、充実に寄与できるよう隊員一同邁進する所存であります。

引き続き、「指導」「鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。中隊長上番のご挨拶とさせていただきます。

駐屯地は、令和3年7月28日(水)、西大和学園中学校生に対し、職場体験を実施しました。午前中は今年3月にリニューアルした史料館の研修から始まり、各種自衛隊車両の見学後、第7施設群教育隊の訓練を見学し、食堂において普段食べることのない自衛隊の食事を体験しました。午後からは、自衛隊で使用する天幕の構築、基本教練を体験し、充実の一日が終了しました。職場体験を終えた学生からは、「自衛隊に興味を持ちました」「駐屯地の食事が美味しかった」等、多数の好意的な感想をいただきました。本体験者から将来の自衛官の誕生が期待されます！

西大和学園中学校生による職場体験



「これは何？」



「これでご飯を炊くの？」



「色々な車がいっぱい」



史料館研修 「長い歴史！」



基本教練 「ピシッと！」



天幕構築 「呼吸を合わせて！」



「これがテント？」



教育隊見学 「暑い中すごい！」

転入部隊長紹介



第318基地通信中隊 大久保派遣隊長 3等陸尉 尾崎 素子(20C)

出身地：和歌山県 要望事項：挑戦 座右の銘：彼を知り、己を知れば 百戦あやうからず！ 好きな4文字熟語：百戦百勝！ 趣味：登山 最近の流行り：孫子 好きな食べ物：焼肉

第318基地通信中隊大久保派遣隊長に着任した尾崎3尉です。

京都南部の地で方面隊の施設科部隊のメッカである、この大久保駐屯地で勤務できることに重責を感じています。同時に地域の方々のご支援・ご協力の下、駐屯地の皆様と勤務できることに喜びと楽しさを感じています。大久保派遣隊は、10名の少ない人数で常統不斷の通信を確保しています。駐屯地の皆様から信頼される通信の確保に努めてまいりますので、よろしくお願致します。

定年退官者紹介

永年の勤務お疲れ様でした！



岡本曹長



南井1曹



坂中2曹



野村3尉



福島3尉



春田1尉

Table with 3 columns: 部隊名, 階級氏名, 退官日. Lists retiring officers and their details.

フォローよろしくね！



大久保駐屯地 Twitter 現在のフォロワー 7460人!! (3.10.1現在)

(やましろ担当 今西3曹)

編集後記

大久保駐屯地広報紙「やましろ」のご愛読の皆様、いつもありがとうございます。また、令和3年度第2四半期号より、ご縁があり、第1科広報班の今西3曹が編集を担当します。宜しくお願致します。 今年は新型コロナウイルスの影響で駐屯地夏祭りまで中止となり残念ですが、来年こそは皆様と一緒に笑顔で盛大に開催できることを期待しています。最後になりますが、引き続き、大久保駐屯地広報紙「やましろ」に対する温かいご支援・ご協力を宜しくお願い致します。